

鹿野天神祭



さくらまつり

かの冬花火



2024



かの'んこと清流Fes.



とうろうながし

まちづくり応援団 えーる



## 登録記念物プレートが 漢陽寺に設置されました 登録記念物プレート除幕式

**新**

年明けましておめでとうございます。令和6年も、まちづくり応援団えーるをよろしくお願いいたします。

今年初の「えーる!」では、昨年12月26日に行われた漢陽寺庭園登録記念物プレート除幕式の様子をご紹介します。

令和3年10月、国の登録記念物として認定された漢陽寺庭園。その認定時に送られたプレートが、2年を経てお披露目されることとなりました。

本堂で行われた式典には関係者だけでなく鹿野に住む皆さんも列席。杉村住職のあいさつや、プレート設置に尽力された「重森三玲庭園の会」の事業説明、漢陽寺の動画上映が行われました。

式典の後、山門をくぐってすぐの場所に設置されたプレートの除幕が行われました。来賓の藤井市長や、漢陽寺庭園を造った重森三玲さんと言葉を重ね、寺内

に庭園を造るため、熱い思いを持って取り組まれた先代住職の手により、無事除幕は完了しました。

半世紀もの昔に「鹿野の地に人が寄り添い、心癒される日本庭園を造りたい」と庭園造りに心を尽くした先代住職の思いと、「漢陽寺に唯一無二の庭園を造りましょう」とそれに応じた重森さん。

鹿野の人々も造園を手伝い、8年の歳月を経て完成した庭園は、こうして登録記念物に認定されるまでに愛され続けています。

除幕された、ぴかぴかに輝くモニュメントには、庭園の説明や30人を超える功労者・寄付者の名前が刻まれています。たくさんの人たちの思いが集まり、こうして形になったのだと感じました。

漢陽寺を訪れ、プレートをみかけたときは、庭園に関わった人々の思いを感じながら、庭園をご覧になってください。

●プレートをみる杉村住職と、重森三玲庭園の会の渡辺会長



●お披露目された記念プレート



# 雪の 漢陽寺



## 式

典のため訪れた本堂はまさに雪景色。固まりになった雪が屋根から大きく張り出した場所も見かけました。

登録記念物に認定された庭園のひとつである「曲水の庭」の砂紋も真っ白な雪に覆われていて、普段見ることのできない姿になっています。



本堂の外に張っていた水はすでに昼が近い時間にも関わらず、液面がなんと凍結していました。

同じ周南市なのに、市街地とはまるで異なる気候に驚くばかり。暖房もない本堂の外は、足元から立ちのぼってくるような寒さ。鹿野の冬を感じることができました。

## 漢

陽寺といえば、秋の紅葉が大変有名です。鮮やかな赤色と庭の様子が見事で、たくさんの人が訪れる季節である秋は、とてもすてきな季節だと感じます。

も大好きです。

痛みさえ感じるような鋭い寒さと、氷や雪に包まれる冬。この寒さこそ鹿野の冬なんだと実感します。

他の季節とは異なる姿を見せる冬。足元に気を付けながら、お寺を訪れてみてくださいね。



## 「鹿野のお米にさらなる価値を」 ピュアライス研究所、オープン!

**今** 季最大の寒気の影響  
で、鹿野もかなりの  
積雪がありましたね。

今月号の「えーる!」では、1月17日にオープンしたばかりの「山の上のおむすびや ピュアライス研究所」についてご紹介します。「鹿野のお米の価値を高めたい」……料理を食べるだけでなく、調理の過程を体験できるお店を始めた理由を語るのは、福岡県からUターンし、整体院「健美処 おふく堂」を始めた、福本ちはるさん・泰久さん・岳くんご一家です。

「ピュアライス研究所では、おむすびやコーヒー、抹茶などのメニューを提供しています。飲食店というより体験型の物産館のようなイメージで運営しています。鹿野のお米をメニューという形で試食し、そのおいしさを感じた上で買って帰ってほしいですね。ゆくゆくは、お米を贈答品としても扱ってもらえるような、そんなブランディングができればと思います」

ピュアライス研究所の立ち上げには、もうひとつの思いがあるんです、と福本さんは語ります。

「鹿野には、お茶を点てる方がたくさんいらっしゃるのですが、若い方が興味を持ち、やってみようと思っても、かしこまらずに体験する場所がなかなかありません。体験できる場所を作りたい、という思いも持っていました」

徳地には、同じように食材を食堂の形で提供し、販売スペースを設けているお店がありますし、北海道には、抹茶を自分で点てて飲むカフェがあるのだとか。

「あ、こういう形でお店をやってもいいんだ、と思いました。こうした先輩たちがいることも、背中を押してくれました」

そんな情熱を胸に、本格的着手から約1カ月で開店までこぎつけました。

「この店を知り、低予算でもカフェができるんだ、鹿野で何かやってみようかなという人が増えてほしいです。これからも、まちおこしの気持ちを忘れず、いろいろなことに挑戦していきたいと思います」

そう語る福本さんご一家のこれからに、心からエールを送ります!

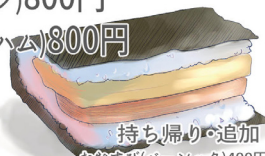


# いざ、体験！ おむすびを作ってみました



## おむすびランチ

味噌汁・おむすび、漬物  
(ボロニアソーセージ)600円  
(ベーコン)800円  
(ロースハム)800円



持ち帰り・追加  
おむすび(ベーシック)400円  
おむすび(ベーコンorロースハム)600円  
味噌汁 200円

取材に合わせ、おむすびと  
コーヒー体験をしました。  
福本さん自ら描いたメニュー  
のイラストを眺めながら、「何  
にしようかな」とわくわくしな  
がら考えます。

おむすびの具材に鹿野ファームの肉や徳地産の卵で作った卵焼きが使用されており、味噌汁にも県内産の味噌を、漬物にはしづかわ工房さんの漬物を使用しています。

「料理に使う食材は、県内産の材料にこだわっています。今後、味噌汁には大潮田舎の店で作られた材料も使ってみたいですね」と今後の展望も話してくださいました。

それでは早速、おむすびを



作っていきます。巻き簾の上に置かれた海苔とご飯に、自分で具材を挟み、マヨネーズをトッピング。これから、トッピングも増やしていきたいですね、と笑顔を見せる福本さん……もしかすると、今日は何をトッピングしようかと、その日の気分でもオリジナルおむすびを作ることができるようになるかもしれませんね！

具材を置き、おむすびをサンドする……食べる前にひと手間あると、ただ食べるだけではなく楽しさを感じることができですね。

コーヒーも、サイフォンから淹れていく体験ができます。本来は自分が作るところを、今回

は、こども店長の福本岳くん直々にコーヒーを作っていたいただきました。

水が沸騰してから一分ほど時間を置くと「この砂時計をひっくり返してください」と、しっかりと説明してくれました。

こども店長に接客してほしいという方は、岳くんがいる日曜日に来店してみてくださいね。

開店に関わる思いのひとつである抹茶を、自分でたてることもできます。今度訪れたときはおむすびと抹茶を注文しようかな、と思いました。

県内産にこだわった食材、そして鹿野のお米を堪能できるピュアライス研究所に、ぜひお越しください！

山の上のおむすびや ピュアライス研究所

- 営業時間 ▼月～金曜日…11時～15時 ▼土・日曜日…10時～17時  
※当面の間は、不定休になります。
- ※所用のため、早仕舞いする場合があります。
- 場所 山口県周南市鹿野上 3260-2 (駐車場は少し離れた場所にあり)

／ CHECK ／

「健美処 おふく堂」公式  
Instagramでピュアライス  
研究所の情報も発信中！



鹿野を応援する地域情報紙

# えーる!

2024.03  
Vol.101

## 光と音と花火の競演 31回目の冬花火

### 暖

かい陽気を感じる日が  
増えてきて、春が近い  
ことを感じますね。今月号の

「えーる!」は、3月2日に  
開催された、かの冬花火「銀  
嶺の舞」2023 Spring Ver.  
についてご紹介します。

当日は3月初めとはいえ大  
変寒く、花火が上がる頃には  
氷点下まで気温は下がって  
たようです。日が高い時間  
でも、日陰にいと、厚いコ  
ートを着ても震えがきてし  
まうほどの寒さでしたよ。

会場の鹿野小・中学校グラ  
ウンドには、飲食ブースのテ  
ントやキッチンカー、ステ  
ージが並びます。明るい時間  
からたくさんの人が訪れ、夜  
を待たずに、会場はとにも  
ぎわっていましたよ。

すっかり日が落ちると、い  
よいよ花火の打ち上げ時間  
がやってきました。

照明が落とされ、真っ暗に  
なった会場。しんと静まった  
会場に輝き始めるレーザー光  
と、鳴り始める流行の音楽。  
ついに始まる! とワクワク  
していたところに、ドーン、  
と爆発音が響き、夜空に花火

が上がり始めました。

空を見上げる皆さんから、  
「わあ」「おお」という声が聞  
こえてきます。打ち上がる花  
火にスマートフォンやカメラ  
を向け、すてきな光のイベン  
トを撮影しようとされていま  
したよ。

「冬花火を通して、鹿野の魅  
力を伝え、人材育成や地域振  
興を行い、未来へつなげてい  
きたいと思っています」と語  
るのは、かの冬花火実行委員  
会会長の渡辺明彦さんです。


「鹿野は街灯も少なく、空気が澄んでいて、花火がひととき  
わきれいに見えます。会場では  
レーザー光や音楽の演出を  
間近で見ることができ、それ  
を目当てに来場される方も増  
えてきています。来場者の喜  
ぶ顔に、スタッフも達成感が  
ありますね」と、思いを語っ  
てくださいました。地域の皆  
さんと共に渡辺さんが作り上  
げた冬花火は、今年もたくさ  
んの笑顔と感動を見せてくれ  
ました。

鹿野の風物詩になった銀嶺  
の舞。次回、32回目の開催に  
も、期待が高まります!


花火の様子は、  
動画でも公開しています。




# 会場を 歩いて




わさびギョウザを試食してのアンケートがありました。ピリッとした辛みがけっこう合う！




会場には、飲食ブースやキッチンカーが並んでいました。



飲食ブースで焼かれる肉が、とてもおいしそう。



ステージイベントでは、数組のバンド演奏が披露されました。



夜のお楽しみ抽選会では、自分の数字が読み上げられるか……と、皆さんステージに注目していました！



## 「鹿野でゆっくりした時間を」 Cafe 畦道 福田さんの思い

### 暖

かい陽気も感じられるようになり、鹿野にも春がやってきたことを感じられますね。

今月号の「えーる!」では、西河内で「Cafe 畦道」を営む、福田省三郎さんをご紹介します。

83歳になる福田さんは、鹿野で生まれ育ち、20代の頃から広島でアパレル関係の仕事を始めました。以来、約50年に渡って広島で仕事をされていたのだから。

転機となったのは、約10年前のことでした。鹿野に帰った福田さんは、人の住んでいない生家の状況を見て「どうにかしないと」と感じたそうです。

生家のほとんどを解体し敷地の整備を行った福田さん。カフェを営む建物は、もともと生家の炊事場に当たった場所でした。

「家族や近所の人遊びに来る場所になればと、この部分は残していました」と語る福田さんが、カフェをオープンしたのは、昨年10月のこと。地元有志が整備

「米店ありがとう」  
「おはよう」  
80代の店主が入れるコートです。  
動きがゆっくりとお待たせ  
するかもしれません。

年月をかけて、この店と  
庭を手作りしました。  
お時間のゆるす  
限り、周囲の景色  
も含めて、お楽しみ  
下さい。



した庭を一般開放するイベント「里山オープンガーデン」に参加した際、来場した方から「お茶が飲めるといいねえ」という声を受け、開店に踏み切ったのだとか。

オープンから約半年が過ぎたの思いを聞くと「大変ですがとても充実しています。近所の人にも寛容で、たくさん車の往来があっても許してもらっていますからお店を続けることができます」と、手ごたえや周

囲の方への感謝を語ってくださいました。

「なにぶん歳を重ねていましてから、来客した方には迷惑をおかけしてしまうかもしれません、この場所を訪れ、自然の空気を吸い、

ゆっくりした時間を過ごしてほしいです」と語る福田さん。おいしいコーヒーと鹿野の自然、そして福田さんの気さくな人柄に癒されるひと時を楽しめるCafe 畦道。ぜひ一度、来店してみてくださいね!



テーブルが12席、小上がりが2席。観葉植物が並ぶCafe 畦道の窓からは、鹿野の豊かな自然を眺めることができます。山に囲まれ、田園風景が広がる鹿野の風景を見ながらコーヒーを飲んで、ゆったりした時間を楽しめそう。お店の近くには川が流れていて、初夏にはホテルも舞うそうです！

## Cafe 畦道



- 住所 山口県周南市大潮3-0-9-1
- 営業時間 金・土・日曜日、祝日の10時～16時（1・2月は休業）
- メニュー コーヒー、紅茶…450円 オレンジ・マンゴージュース、ジンジャーエール…400円  
ピザ…700円 ワッフル・ケーキ各種…400円  
ケーキセット…700円
- 駐車場 8台程度
- 問合せ ☎090-4104-6277



ひときわ目を引く石畳の道が印象的な、店外の庭。この道は、家を解体したときに出てきた石などを使い、整備したものなのだとか。カフェオープンのきっかけにもなった「里山オープンガーデンかのか」は、今年も4～5月の2カ月間、鹿野の各地にある庭を会場に開催されます。期間中はカフェ営業を拡大して、木曜日以外の週6日、庭にも席を設置して開店予定です。ガーデンの見頃は4月下旬頃からですから、ぜひ、カフェと一緒に、すてきな庭も楽しんでくださいね。

鹿野を応援する地域情報紙

えーる!

2024.05  
Vol.103

# こころ踊る鹿野の春 里山オープンガーデンかの 2024

心 地よい日差しが降り  
注ぐ、過ごしやすい

季節になってきましたね。  
今月号の「えーる!」は、  
鹿野の各地を会場に、5月  
末まで開催中の里山オープ  
ンガーデンかの2024を  
ご紹介します。

鹿野に新しい風を呼び込  
み、鹿野の外に風を吹かせ  
たい、さまざまな要因で消  
えゆく里山を緑や花の力で  
鹿野から変えていきたい、  
そんな思いで平成23年から  
活動している鹿野の風プロ  
ジェクト。

その計画のひとつとして  
鹿野を訪れる交流人口を増  
やすため、「里山オープ  
ンガーデンかの」は、令和2  
年から、毎年4〜5月に実  
施されています。

季節の花が咲く庭、さま  
ざまなオブジェが飾られた  
庭、まるで森の中のような  
木々に囲まれた庭、岩や石  
を利用した庭……庭ごとの  
特徴がある22の庭が参加し  
た今回の里山オープンガー  
デンかの。庭の中で耳を澄  
ませてみると、木々が風に

揺れる音や、小鳥のさえず  
りが聞こえてきます。こう  
した鹿野の自然が、庭の魅  
力をいっそう引き立ててく  
れるように感じました。地  
面に広がる花や、立派な枝  
を広げる木々を堪能した後  
は、さらに視線を上に向け  
て、空を見上げてみる……  
そんな楽しみ方もあるのか  
なと思います。

春の暖かい日差しの中で  
鹿野の庭をぜひ堪能してく  
ださいね。



(911ガーデン)

## 里山オープンガーデンかの2024

期間 4月1日(月)～5月31日(金)

10時～16時

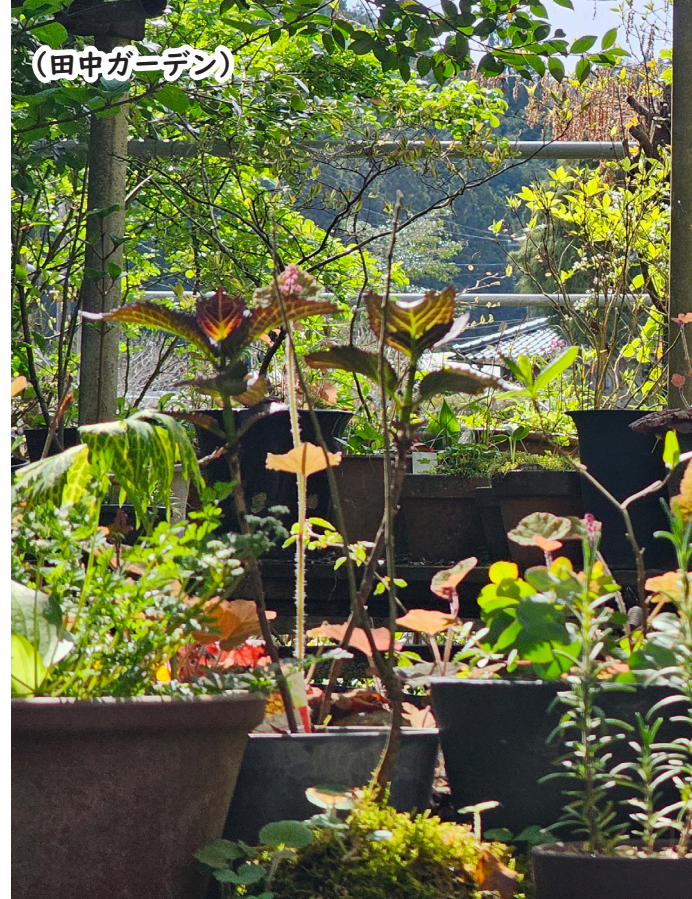
※開園時間・休園日は、庭により  
異なります。

詳しい開催場所やパンフレット、  
案内マップは、ホームページなど  
で公開しています。





(たぬきの庭)



(田中ガーデン)



(山田ガーデン)



独断と  
偏見で選ぶ

## 注目の庭！

旧・農家レストランたぬきの周辺に広がる「たぬきの庭」は、地面に広がる花、木に咲く花と、さまざまな種類の花を楽しむことができます。

日曜日限定公開の「田中ガーデン」では、空を覆うような木々の間から、小鳥のさえずりが聞こえてきます。運が良ければ、鳥たちの姿を見ることがもできますよ。

斜面を使い上下に広がる「山田ガーデン」は、ベンチの下にネモフィラの青が広がります。ベンチに腰掛けて見える鹿野の風景も一見の価値あり！ ぜひ一度、見てみてくださいね。

鹿野興産の裏山に広がる「鹿野興産の桜丘」には、たくさんの木々が植えられています。手前に広がる採石場も大迫力！ 会社が休みの日曜日に訪れるのがおすすめです。

魅力ある庭がそろった里山オープンガーデンかの2024。あなたのお気に入りか、きっと見つかると思います！



(鹿野興産の桜丘)

## 会場に響く子どもたちの声 第19回いっておかえり鹿野市

### 雨

が多くなり、寒さを感じた日も多くなりました。体調に気を付けて過ごしてくださいね。

今月号の「えーる!」では、5月18日に開催された第19回いっておかえり鹿野市についてご紹介します。

萩市から岩国市までの約100キロメートルを結ぶ旧山代街道。鹿野もこの街道沿いにあり、江戸時代には宿場町として栄え、毎月3のつく日には市も開催されていました。

この市を現代に復活させることで、鹿野がにぎやかになれば……という思いから始まった「いっておかえり鹿野市」は今回で19回目。雲一つない快晴の下、22の店舗が出店し、鹿野小学校児童もスタッフとして加わりました。「いらっしやいませ!」と、普段は静かな鹿野の町なかに、元気な子どもたちの声が響いていましたよ。

ンボルの暖簾がたなびく会場を走り回る姿も見られます。子どもたちが自由に会場を走り回っている姿は、なかなか見ることができない、と感じます。

会場には、かき氷や焼きそば、お好み焼きなどの軽食だけでなく、多肉植物販売、マツサージやストラックアウトなどが並び、市を盛り上げます。商工会前では、鹿野さんさ保存会の太鼓体験や、ミニコンサートも開催されました。

そんな鹿野市は、どのような思いで運営されているのでしょうか。鹿野ブランド創出研究会の洞崎さん(ほらざき)に思いをうかがいました。

「鹿野がにぎやかになってほしい、地元の人に元気があってほしい、という思いで鹿野市は始まりました。そのうちに、学校と地域が一体になり、児童と地域の交わりを生み出そうという流れができてきました」

学校と運営することになっても、そのコンセプトは変わりません、と洞崎さんは語ります。

「町なかに子どもたちの声があれば、地元の人も元気になると思います。子どもたちにとっては鹿野市が学びの場になり、郷土愛をはぐくむことにつながれば良いと考えています」

共催の「未来をつくる鹿野人KANOA」の大田さんも「鹿野市を通して、普段関与しない人とも交流を持つ機会になってくれればと思います」と鹿野市について思いを語ります。

たくさんの大人が、子どもたちに対する思いを持って鹿野市をつくり、そこに子どもたちの力……児童の描いた絵がチラシになったり、お店のスタッフになったりという力が加わって、鹿野市がよりすばらしいものになっているように感じます。

子どもたちと、さらなる元気を届けるイベントへと成長していく鹿野市は、次回でついに20回目。ぜひ、次回も会場に行ってみてくださいね。





## 萩からやってきた”熱風” SENDANMARU CAFEで、海のランチタイム!

### 船

団丸が、鹿野にやってくる……今井地区の農道にあるK BASEで、6月22日・23日に限定開催された「SENDANMARU CAFE」の話を聞いて、ぜひ行ってみたいと思いました。

平成22年、山口県萩市で始まった、獲れたての魚を船上で下処理し、漁港から消費者のもとへ自家出荷する、という船団丸の取り組みは、ドラマ「ファーストペンギン!」としてドラマ化もされました。

普段はドラマを見ない自分でも、その名前を知っているドラマのモデルになった企業が、萩市から車で1時間も離れた山間の鹿野にやってくる……そこには、どのような縁があったのでしょうか。

株式会社GHIIBL代表取締役で「ファーストペンギン!」の主人公のモデルにもなった坪内知佳さんに、そのいきさつや、思いをうかがってみました。

「萩市に移住して15年が過

ぎ、山口県に育てられて今日に至りました」と語る坪内さんは、船団丸だけでなく、規格外パールをブランド化したパールジュエリーや、海や山のスタディーツアーなど、全国を飛び回りながら事業を展開されています。

そんな坪内さんと鹿野の縁は10年前から始まりました。鹿野に友人がおり、その縁で、イベントの手伝いなどで鹿野を訪れていたんです。

友人が店をクローズするという話を聞き、店舗の賃貸契約が終了するまでに何かできることをしたい、という思いから、SENDANMARU CAFEの企画を立ち上げ、なんと3週間で実現に至りました。

「天候や交通アクセスの条件を言い訳にせず、人が集まる理由を作りたい。そのため、ドラマ化された知名度も生かして、何かできればと思いました」

開催日は大雨が降り続く天候でしたが、カフェは大

盛況! 初日は、10時30分の開店前から、たくさんの方が並び、なんと初日分の食材が、わずか30分で完売したのだとか。

「急きよ、漁から戻ってきた漁師さんに魚を持ってきてもらい、皆で魚をさばいて、追加してメニューの提供を行いました」というエピソードもありました。

会社名のGHIIBLとは、イタリア語で、サハラ砂漠から地中海に向かって吹く熱風のこと。

坪内さんや関係者の皆さまの情熱が、鹿野の町に、たくさんの人を招いてくれました!



●会場のK BASE

SENDANMARU CAFE メニューを実食！！

# 粋粋！船団丸お魚プレート

皮が香ばしく炙られたレンコ鯛や、とろっとして甘い剣先いか。しょう油をつけるのがもったいないぐらい、具材の新鮮さを堪能することができました。

魚だけでなく、萩大島産の野菜もおいしい！みずみずしく、シャキシャキした野菜と、こめ油と塩で味付けされたツナを合わせていただきました。

剣先いかと萩大島産の野菜の煮つけが、とってもいい味を出しています！イカがこりこりして、歯ごたえのある味わいをプレートに添えてくれましたよ。

プレートの中で、自分のイチオシはアジの塩焼きでした！塩で味付けされ、焼き上げられたアジは、かみしめるたびに「じゅわっ」と味を感じることができ、シンプルであるゆえに、口いっぱい魚の味を感じられますよ。

鹿野のお米を使い、あら出汁と魚と一緒に炊き込んだご飯も、しっかり味がしみ込んでいます。これだけで、がっつり食べたいぐらい！魚の出汁のうまみが、お米によく合うんです。

## インターネットで、通販展開中！

船団丸の新鮮な魚を楽しめる粋粋BOXをはじめ、さまざまな事業を展開する株式会社 GHIBLI。坪内さんの公式サイトから、展開事業の通販や申し込みをすることができます。ご興味がある方は、ぜひご覧になってみてくださいね。



## 鹿野の夏を彩る 天神祭と二十歳を祝う会

**お** 盆も過ぎ、少しずつ秋が近付いてきていますが、まだまだ暑い日々が続いていますね。

今月号の「えーる!」では、鹿野の夏に行われたイベントを2つご紹介したいと思います。

ひとつ目は7月30日に開催された鹿野天神祭です。

会場に向かう頃にはすっかり日が落ちていました。遠くに見える屋台の明かりや、イベントのアナウンスをしている声が聞こえてくると、ついつい早足になっていきます。

ワクワクしながら到着した会場。平日の開催ながら多くの屋台が並び会場にはたくさんの方が訪れ、賑やかな雰囲気を楽しんでいました。

お菓子まきが終わってひと段落している間に、会場で腹ごしらえをすることにします。焼きそばにイカ焼き、焼き鳥など、屋台のメニューは、どれもおいしそうです。屋台を楽しむのも、祭りの醍醐味ですね。



食事も終わった頃、下市側から、ちようちんの明かりが見え始めました。奉納行事のひとつで、天神様として祭られる菅原道真公を迎えに行く様子を再現した大行司・小行司の行列が近付いて来ます。

行列を見守る人たちは、思い思いにスマホで動画や写真を撮り、天神祭を思い出に残していました。

大行司・小行司が通り過ぎると、毎年恒例の奉納行事である網代が会場を駆け回ります。広場では、さらに巻いた裸坊が牛車を回転させるパフォーマンスが行われ、会場からは歓声が上がっていました。

今年も大盛況のうちに幕を閉じた鹿野天神祭。来年の開催が、今から待ち遠しくなります!

真夏の成人式を皆でお祝い

# 鹿野地区 二十歳の集い



8月12日、コアプラザかので行われた「鹿野地区二十歳の集い」。20歳となった若者を招き、皆でお祝いするこの会は、コロナ禍に伴い始まった行事です。地区コミュニティである「明るく元気な鹿野をつくる会」が主催するこの行事は、地域手作りで二十歳となったことを祝おう、という考えで行われており、当日は6人の方が参加しました。

自己紹介の後「ここは鹿野のどこでしょう?」と場所当てクイズが行われたり、鹿野の良いところを一文字で表現して発表したりと、さまざまな催しが続きます。鹿野の良いところとして挙げられた一文字には、小・中学校時代の遊び場だった、とてもきれいな水で魅力的だったと「川」をあげる人、癒やしを感じるから「癒」、県外に暮らしていて鹿野の温かさを思い出したと「温」、自然の豊かさや、地域の人たちと何気ない会話やあいさつが自然とできる心

の豊かさから「豊」など、鹿野の良さがさまざまな文字で表現されているな、と感じました。

クイズも終わり、スライドで6人が小学生の頃、特別養護老人ホーム「やまなみ荘」で合唱を披露したときの動画が流されます。皆さん、昔を思い出しながら動画に見入っていましたよ。

記念写真撮影の後、地域の皆さんとの会食に移ります。乾杯の後地域の方々が準備したオードブルやアユの塩焼きなど、鹿野ならではの料理を味わいながら、会場はわいわいと賑やかな雰囲気になりました。皆が楽しそうに食事をされていました。

「市が主催した二十歳の記念式典には出席できなかったけれど、こうして地区のつどいに出ることができて良かった」と感想を述べる方もおり、鹿野の新人人にとって思い出に残るすてきな時間になったくれたのではないかな、と思いました。



## 「光の庭園から未来のリーダーを」 かの'nこと清流Fes. 初開催!

す

っかり暑さも和らぎ  
秋の訪れを感じます

ね。今月号の「えーる!」  
では、鹿野の秋を彩る新  
なイベント「かの'nこと  
清流Fes.」光の静寂・庭  
園モダンズム」について  
紹介します。

今年初開催となるこのイ  
ベントは、プロジェクショ  
ンマッピング（立体物など  
に映像を投影する技術）に  
より、映像が投影された漢  
陽寺の「曲水の庭」をメイ  
ン会場に行われます。

このイベントは、毎年冬  
に開催される「かの冬火花  
銀嶺の舞」に替わるイベン  
トとして、3年前から計画  
が進められていました。

多くの方が訪れる冬火花  
から、新たなイベントに移  
行する背景には、どんな思  
いがあるのでしょうか。か  
の、こことプロジェクトの  
渡辺明彦さんに、お話をう  
かがいました。

「冬火花は一日限りですが、  
この清流Fes.は10日間に  
わたって行います。長期間、  
イベントを楽しんでもらえ

●ポスターを手にする渡辺さん



るようにできないかと考え  
て、今回それが形になりま  
した」そう語る渡辺さんの  
思いは、イベントの成功だ  
けに留まりません。

「イベントを通して地域を  
盛り上げたいという気持ち  
はもちろんですが、若者が  
運営に関わることで、次世  
代を担うリーダーとして成  
長してほしいという思いも  
あります」

プロジェクトには、かの  
冬火花実行委員会や鹿野町  
商工会、漢陽寺や明るく元  
気な鹿野をつくる会など鹿  
野のさまざまな団体が参加  
し、メンバーには30～40代  
の若者も加わっています。  
清流Fes.が、彼らの成長

の場になってほしい……今  
の鹿野が盛り上がるだけで  
なく、未来の鹿野が今まで  
以上に盛り上がることも視  
野に入れている、鹿野の将  
来を思う気持ちに触れるこ  
とができました。

「11月の鹿野は紅葉の季節。  
昼は紅葉を楽しみ、夜は清  
流Fes.を楽しんでほしい  
と思います。メイン会場に  
なる曲水の庭も、昼の様子  
とまったく異なる、水墨画  
が動いているかのような非  
日常を、ぜひご覧になって  
ください」鹿野の誇る庭園  
を主な舞台に、10日間の祭  
典が始まる11月。その開催  
が、今からとても楽しみみで  
すね!

メイン会場 漢陽寺「曲水の庭」

国の登録記念物にも選ばれた漢陽寺「曲水の庭」。

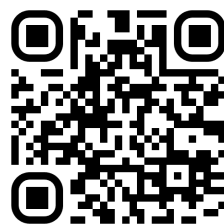
会期中には、映像技術を駆使した、昼間とはまた違った顔を見ることができます。「庭に一味加えたい」そんな思いで彩られる庭園を、ぜひご覧ください。



入場にはチケットが必要です

メイン会場に入場するためには、チケットが必要になりますが、ゆっくりと庭園の様子を鑑賞することができます。

前売券は1,000円、当日券は1,500円で販売されます。1日の入場者には限りがありますので、確実に庭園を見たいという方は、チケット販売サイト「Livepocket」から、前売券の購入をご検討ください。



清流通りもにぎやかに！

潮音洞の水が流れる「清流通り」では、期間中、キッチンカーなどが並び、飲食・物販コーナーが展開されます！

昼間も出店予定ですので、昼間は紅葉を楽しみながら散策し、夜はまた違った景色を楽しんでみてくださいね。



●紅葉した清流通り（2023年11月撮影）

かの'n こと清流 Fes. ～光の静寂・庭園モダンイズム～

期間 11月8日(金)～17日(日)

時間 ▼漢陽寺…17時30分～20時30分（庭園への最終入場20時） ▼清流通り…10時～20時

メイン会場への入場料 ▼中学生以上…前売券 1,000 円、当日券 1,500 円▼小学生以下…無料

問合せ ▼周南観光コンベンション協会☎0834-33-8424 ▼かの'nことプロジェクト☎090-1330-4662

## 夕暮れに輝く願いの灯 清流通り灯ろう流し開催

**朝** 晩は寒さを感じる毎  
日。秋を感じるこ  
のできる気候になりました  
ね。今月号の「えーる!」  
では、10月12日に開催され  
た「清流通り灯ろう流し」  
をご紹介します。

明るく元気な鹿野をつく  
る会により企画されたこの  
催し。「鹿野に水路を掘り  
抜いた岩崎想左衛門重友と  
その思いに共鳴した住民が  
つくりあげた潮音洞。その  
水が流れる清流通りで、何  
かができれば」という思い  
で実施されています。

カメラを手にする人たち  
の姿もたくさん見かけるこ  
とができ、コロナ禍の中で  
始まったこのイベントが、  
次第に認知されてきている  
ことを感じます。

17時30分になり、お経が  
あげられた後、水路に灯ろ  
うが流れ始めます。少し早  
歩きが必要なぐらいの速さ  
で水が流れる水路。その流  
れに乗って、あつという間  
に流れていく灯ろうを見逃  
すまいと、小走りになって  
追いかけてました。

水路は段差のある場所も  
ありましたが、水の流れに  
乗ってくるくると回転しな  
がら、灯ろうは無事に段差  
を越え、流れていきます。

池から周南市役所鹿野総  
合支所横までの数百メート  
ルを流れた灯ろうは、参加  
者の皆さんがお手伝いし、  
二所山田神社の石段に並べ  
られていきます。ずらっと  
並べられた灯ろうが輝く  
中、宮司さんによる祝詞奏  
上が開始。今までのにぎや  
かな空気から一変して、会  
場はおごそかな雰囲気。

奏上を見守りました。

最後に行われた灯ろうの  
お焚き上げでは、釜に投げ  
込まれた灯ろうが、どんど  
ん燃え上がっていく様子を  
見守りました。灯ろうが放  
つ温かさを感じ、揺らめく  
炎を見てみると、不思議と  
安らぎを感じることができ  
ました。

主催の明るく元気な鹿野  
をつくる会の皆さまや、運  
営のお手伝いをする参加者  
の皆さんを見てみると、こ  
の灯ろう流しが単なるイベ  
ントに留まらず、鹿野に暮  
らす人たちのすてきな部分  
を見つけるきっかけになっ  
たように感じました。



## 旧大潮小学校 (11月10日)

▽鹿野写遊会6人写真展▽人形劇

▽KANO & KANO まるっとマルシェ



▼カフェなどの店舗は、11月9・10日開催です

たぬきの館 ※11月9日～12月1日は不定期営業します。

▽オカリナ演奏 (10日 11時) ▽癒しの星空写真展

▽おはなし会 (11月30日 13時)



cafe マルタ ※11月9日～不定期営業します。

▽ジャズ演奏 (9日 11時) ▽ピアノ演奏 (10日 11時)

▽ガーデン写真展



カフェ畦道

▽沖縄音楽 (10日) ▽ふるさと芸術村有志写真展 ▽水彩画展



旧カフェ911

▽フォーク演奏 (10日 14時) ▽フォトグラファー NAO 写真展

▽陶芸体験教室 (各 10時:先着8人)



ピュアライズ研究所

▽中村美江写真展



かの' n こと清流 Fes. (11月8日～17日)

▽プロジェクトンマッピング

▽アコーディオン&ギター (10日 13時30分)



コアプラザかの' (11月9日～12月1日)

▽下瀬信雄写真展 ▽地元の皆さんの展示

▽人形劇 (12月1日)



# 鹿野まるごと文化祭

文化祭は町づくり……初めての挑戦！

毎年、秋にコアプラザかの'で行われる鹿野文化祭。今年はそのだけでなく、鹿野「まるごと」文化祭として12月1日まで開催されます。

今年初の試みとして会場を3つに増やし、11月9・10日の2日間は、カフェなど鹿野の中に点在する店舗を会場に、さまざまな演奏会や展示が行われます。まさに鹿野がまるごと会場になった文化祭というのにふさわしい2日間ですね。

特に11月10日には、旧大潮小学校を会場にしたマルシェが目立ちます。多くの雑貨やキッチンカーなどが並び、他、写真展や人形劇など、鹿野の秋を満喫できる時間になります。

先月号でご紹介した「かの'のこと清流 Fes.」もこの時期に開催されます。

お昼は文化祭や秋の紅葉を楽しむ、夜は違った雰囲気味わえる……そんな、特別な土日になりそうです。鹿野で花開いた皆さんの「文化」を楽しんでみてくださいね。

期間 11月9日(土)～12月1日(日)  
場所 コアプラザかの'、旧大潮小学校、各店舗  
問合せ 福田さん ☎ 080-6311-4079  
岩田さん ☎ 090-4800-8640  
※清流 Fes. は ☎ 0834-33-8424 まで

子たぬきのパン (10月31日～11月24日)

▽マエサキマユ個展

▽お客様の晩餐会 (11月9日 17時～8時 先着20人、要予約)



## 庭が、輝く。 かの、n こと清流 Fes.



### 寒

さが厳しくなり、冷え込みが厳しい季節になりましたね。今月号の「えーる!」は、11月8日

〜17日に漢陽寺をメイン会場に行われた「かの、n こと清流 Fes.」についてご紹介します。

庭園に映像を投影するプロジェクトに、夜間のイベントならではの光を使った10日間。前売券を購入した9月から、どんな映像を見ることができののかと、ワクワクしながら開催を待っていました。

そして11月9日、通い慣れた鹿野への道を、いつもと違った気持ちで走り、会場へとやって来ました。

メイン会場の漢陽寺に到着してすぐ、ライトアップされた山門に目を奪われました。山門の前に造られた、巨岩を配置した曹源一滴の庭が青く浮かび上がり、見慣れた山門が、まるで別世界のよう。

これだけでも十分に見ごたえがあるというのに、境

内ではどんなものを見ることのできるのだろうか、と期待が高まります。

そして始まった映像。舞い散るモミジ、月とススキや、燃え上がる炎、一面のヒマワリ……庭という立体のスクリーンに映し出された約5分の映像は、どれも見たえあるものばかりでした。

中でも自分が一番感動したのは、岩の輪郭を光がなぞり、岩が暗闇に浮かび上がる演出と、庭の中を通る水の流れがライトアップされる演出でした。

曲水の庭は、山水の様子を岩と砂で表現する枯山水に、漢陽寺の裏山に掘り抜かれた潮音洞からの水を通した曲水様式を合わせて造られた珍しい庭です。

この庭の特徴である、岩と水にスポットライトを当てたこの演出は、庭という素材を映像のスクリーンに留まらせず、庭に敬意をあらわした表現であるように感じられました。

帰り際、スタッフの方に

「すてきでした」と伝えようとして、声が詰まってしまうほど、心を揺さぶられる演出でした。

シャッターを切ることに夢中だった一度目の上映。それで終わりたくなくなり、じっくり目で見たくなり、もう5分間、その場で庭の演出を楽しませていただきました。



# 庭園のライトアップと 清流通りのにぎわい



地蔵菩薩と子どもたちが遊ぶ様子を表した地蔵遊化の庭でも、プロジェクションマッピングが行われました。写真奥に見える蓬萊山池庭や、裏山の木々が美しくライトアップされ、庭の映像を彩ります。光の円や模様、打ち寄せる波の映像が庭の砂紋に映し出され、最後に庭の特徴である岩たちに光が当たり、まるでスポットライトのように岩を浮かび上がらせました。

お地蔵様と子どもたちの遊ぶ様子が、目に浮かんでくるような演出だと感じました。

漢陽寺の山門から、周南市役所鹿野総合支所へと延びる遊歩道「清流通り」では、地元団体のバザーなどが、お昼から夜まで交代で出店されていました。18時頃に漢陽寺を訪れ、ちょうどお腹が空いた頃に訪れた清流通り。夕食はここで食べるしかない！という気持ちになりました。

寒さも強まる11月の夜、ライトアップされた漢陽寺を遠くに眺めながら、おいしい食事をいただきました。

清流通りのフォトスポットでもある水車小屋も、紅葉を

思わせる真っ赤なライトで照らされ、普段と違った顔を見せてくれました。

秋、紅葉する木々に包まれる清流通りが、ライトの力でよりいっそう赤く、木々が映えて見えました。光と映像とで、庭の特徴を浮かび上げながら、庭の美しさを、改めて感じさせてくれました。

冬の花火に替わり、秋を彩る光のイベント。これからもこのイベントが鹿野を盛り上げてくれるように願い、心からエールを送ります！

